

【マンモグラフィ（乳腺撮影）】

マンモグラフィとは、乳房撮影専用装置により、X線を使用して乳房を撮影する検査です。微細な病変を検出するため乳房を圧迫しながら乳房全体を写し出します。乳房撮影は触診では判りづらい小さな病変を写し出すことができ、乳がんの早期発見に威力を発揮します。乳がんは女性 20 人に一人の割合で罹患するといわれ、40 歳からは毎年乳がん検診の受診が推奨されています。

当院では女性技師がマンモグラフィ撮影を担当しておりますので安心して受診ください。また、わからない点など、お気軽にご質問ください。



乳腺撮影装置

【骨密度検査】

骨粗鬆症を診断する検査方法として骨密度測定検査を行っています。DEXA法（二重エネルギーX線吸収法）エネルギーの違う2種類のX線を利用して筋肉や脂肪と骨を区別し骨成分だけを抽出して骨量を測定します。腕の撮影による簡単な検査で骨粗鬆症の早期発見役立てています。



骨塩定量装置

骨粗鬆症

骨粗鬆症とは、骨の量が減って骨が弱くなり骨折しやすくなる病気です。日本では、約1,000万人の患者さんがいるといわれており、高齢者人口の増加に伴ってその数は増える傾向にあります。女性の場合、閉経後にホルモンバランスが大きく変化して骨密度が急激に減るため、骨粗鬆症になる人の割合が高くなります。男性も加齢と共に腸管からのカルシウム吸収が低下するため、70歳を過ぎると骨粗鬆症になる人の割合が高くなります。